

「人ってどう死ぬの？」2人の少年とその家族の心温まるストーリー／
映画「光る校庭」特別上映会&トークイベントを開催
— ロケ地は100%豊田市、安達祐実さん、光石研さんなど出演 —

J A愛知厚生連 足助病院（病院長：小林真哉）では、2023年5月20日（土）に足助交流館「飯盛座（いいもりざ）」にて、当院がロケ地となり職員も撮影に参加した映画「光る校庭」の特別上映会イベントを下記の通り開催します。

上映会概要

日時：2023年5月20日（土）12：45 開場 13：30 開演（上映時間 75分）

上映後、比嘉監督と小林病院長による対談イベントがあります！

ロケ秘話のほか「終の住処」の実現を目指す同院が提供する在宅医療など患者に寄り添う医療も交えて語ります。会場からの質問も受け付けます！（15：20 終了予定）

場所：豊田市施設 足助交流館 飯盛座（いいもりざ） 豊田市足助町蔵ノ前 16

※足助交流館の駐車場はご利用いただけません。お車でお越しの際は香嵐渓駐車場（有料・徒歩5分）または足助病院駐車場（無料・徒歩10分）をご利用ください。

申込：事前申し込み不要・入場無料（定員 300名）※当日の整理券配布はありません

主催：足助病院 協力：豊田市商業観光課

映画「光る校庭」の概要

豊田市出身の映画監督 比嘉一志さんが2022年に制作した長編映画。コロナ禍にSNSに投げられる他者への誹謗中傷などの強い言葉を目にしたからこそ、やさしい物語を描きたかった、と想いを込めた。

愛知県豊田市を舞台にし、「人って死ぬとどうなるの？」をテーマに2人の少年とそれぞれの家族の小さな前進が温かく描かれるひと夏の物語。

「ロケの約3割は足助病院で撮影」



監督・脚本：比嘉一志 撮影：2022年8月 主題歌：大平伸正「描くヒカリ」

出演：稲垣然太 笹木祐良 安達祐実 光石研 里園侑希 ほか

医療監修：足助病院病院長 小林真哉 ※院内の様々なシーンがよりリアルに描かれています

受賞歴：2022.12月「横濱インディペンデント・フィルム・フェスティバル」長編部門最優秀賞を受賞

2023年4月「第21回中ノ島映画祭」コンペティション入選作品に選出

上映会イベント開催に至る経緯

- ・足助病院では、ロケを通じ比嘉監督と小林病院長が意気投合したことをきっかけに、映画PRを全面的に支援してきた。その中で足助病院の患者さんや地域住民からの「映画を上映してほしい」という声が数多く寄せられたことから今回のイベント開催が決定した。
- ・映画は、足助病院を含む豊田市内の各施設（JAあいち豊田含む）が舞台となっており、自然豊かな豊田市足助地区の風景も見どころ。交通手段が限られた足助地区（中山間地域・高齢化率40%）の皆さんにも映画を見てほしいという思いから上映会を開催することになった。

JA愛知厚生連 足助病院 概要



設立：昭和25年10月14日
住所：愛知県豊田市岩神町仲田20番地
病床数：一般148床
（うち地域包括ケア病床48床）
・介護医療院42床
職員数：242名

西三河北部の中山間地域の医療を担い、急性期・回復期・慢性期医療を提供しています。高齢化率がすでに40%を超えている地域であり、高齢者を支えるコミュニティーの一部として地域に寄り添う医療を実践しています。

本件の問い合わせ先

JA愛知厚生連 足助病院 企画室（担当：日比）

TEL：0565-62-1227

E-mail：a.hibi@asuke.jaakosei.or.jp

WEBサイト：https://asukehp.or.jp/

上映会当日は、比嘉一志監督、病院長の小林真哉が取材に対応できます。